

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 6月20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3490100116
法人名	社会福祉法人 広島光明学園
事業所名	グループホーム光明 牛田新町
所在地	広島市東区牛田新町3丁目20-1 (電話)082-222-3223
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成20年6月27日

【情報提供票より】(20年5月 31日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	昭和・平成	19年7月1日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計 18 人
職員数	18 人	常勤 16 人, 非常勤 人, 常勤換算 人

### (2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	3階建て	2階 ~	3階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	56,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	(有)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有)(150,000 無	有りの場合 償却の有無	有/(無)	
食材料費	朝食	500 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり			

### (4)利用者の概要(6月 27日現在)

利用者人数	17名	男性	4名	女性	13名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	10名	要介護4	3名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 85.5 歳	最低	71 歳	最高	96 歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	渡辺内科医院
---------	--------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成19年7月に開設されたグループホーム牛田新町は抜群の住環境の立地に建設されており、居間につづくベランダは広く、部屋毎に区切ってなく長く、家庭的な雰囲気をかもし出している。共用の居間も広く、明るい。職員の利用者に対する言葉使い、ふる舞いも理念に基づいた行動として強く印象づけられた。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が初めてなので対比できない。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	グループ内3ヵ所目のグループホームだけあって、すべての面で取組みはすばらしいものを見た。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	ホームの現状報告が主義題のようだが、一階に子育て支援センターが計画されており、地域住民の憩いの場としても提供されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	月一回の現状報告書を利用者の家族に発送し、面会者もあって意見、苦情はその都度話され対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	事業所の目指す理念に着実に近づけるよう地域との連帯を深めている。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な雰囲気を大切にする。地域の人と交流を心がける明るい笑顔を絶やさないようにする。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	上記3つの理念のもと、日々利用者への対応、地域住民との関係作りに励んでいる。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所の敷地は広く子供の遊具は備え付けられ、菜園もあってボランティアの人との交流がある		子育て支援センターの活動、地域住民との交流がより活発になることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	事業者側は牛田新町の運営に自信を持って取り組んでおりその意欲は十分うかがわれる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回地域の町内会長、民生委員、利用者代表出席のもと開催されていて、包括支援センター長も必ず出席し実務に即した話し合いや取組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との連携は本部が一括して行っており、事業所は運営推進会議に重点をおいている。		
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月一回現状報告が家族の方へ送付され健康状態、日常生活変化など知らせている。変化があれば電話で知らせている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会日には口頭で、ときには意見箱の中へ入れてもらうこともある。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニットに職員を固定するのではなく、ローテーションを組んで異動し、職員と利用者の関係を蜜にするよう努めている。		
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループ内の研修には出来るだけ出席させており、出席できなかった人には、プリントをわたして研修させている。また外部研修にも順次積極的に参加している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループ内での交流は盛んに行われているが、現時点で同業他社との交流は無い。		同業他社を含めた交流会をもってお互い、サービスの向上にむかっての研修を深めてほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居体験は無いが、入所時に家族との話し合いを十分おこなっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の生活歴を聞き出して、希望とか要望の把握に努めている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者本人の日常生活のなかで、話し合い希望、意向の把握につとめている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアマネジャーと職員で話し合い、家族の意見を聞き、必要に応じて介護計画をつくっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に応じて見直しをするのではなく、必要に応じて対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	要望、状態に応じた対応をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の家族の了解のもとに、かかりつけ医と連携をとり支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化のあり方、終末期のあり方など、家族の方と話し合い、その方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員全員が十分に気をつけている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせて、出来る限り本人の希望にそって支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は一緒に食べ、おやつ等は一緒に作ることもある。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の勤務上、夜間の入浴は難しいので、各自の時間をきめて入浴することになっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	菜園での作業、近所への散歩は本人の希望にあわせて支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所のスーパーへの買い物同行、近所への散歩は希望にそえるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	二階、三階の居間は鍵はかけていない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	所内の自衛消防組織でまかなっているが、早めに町内会の協力を得るようにしたい。また年内には消防署同席のもと訓練の実施を計画している。		消防署の本格的な訓練を早めに受けられることが望ましい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりについて食事量、水分の記録を取り、場合によっては補助食品の提供もおこなっている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間に通じるベランダは広く、共用の空間も広くて明るい、自分の家に居る心地良さを感じさせる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居間には、いままで使用していたなじみの品物が置かれ、本人が快適に暮らせるように工夫されている。		